

みなみいおうとう

企画展 日本最後の南硫黄島展 の秘境

10年ぶりの学術調査から

小笠原諸島の一つ、南硫黄島は、人が定住した歴史のない原生の島で、昭和50年5月に「原生自然環境保全地域」に指定され、立入禁止措置などにより厳正な保全が図られています。

この“奇跡の島”で、平成29年に10年ぶりの総合学術調査が、各分野の専門家を集めて実施され、当館学芸員もその調査員として参加しました。本企画展では、今回の学術調査の結果を、原生の自然の素晴らしさとともにお伝えします。



当館学芸員 苅部



写真：南硫黄島全景。山頂近くは、ほぼ常に雲や霧が覆う「霧帯」です。

2018
11/17 土 ~ 12/9 日

会場／神奈川県立 生命の星・地球博物館
1階 特別展示室
神奈川県小田原市入生田499

開館時間／9:00～16:30 ※入館は16:00まで
休館日／11月19日(月)・26日(月)
12月 3日(月)・4日(火)

観覧料／ **入場無料**

※常設展への入場は、別途料金が必要です。

協力／小笠原自然文化研究所、牧野標本館、
ふじのくに地球環境史ミュージアム
東京都、首都大学東京、NHK
ポニインタープリター協会、
公益財団法人東京都公園協会、
南硫黄島自然環境調査隊 2017

2007年以来10年ぶり4回目の学術調査が東京都・
首都大学東京・NHKの3者により実施されました。

詳しくは、裏面へ →